

高知スピリット発信!
map



高知の移民文化
発信プロジェクト

JAPÓN

Kochi

BRASIL

Rio de Janeiro
Santos

Londrina
Estado do Paraná

10 浦臼町郷土史料館(北海道・浦臼町)
坂本龍馬ゆかりの地
「土佐から浦臼へ“北の龍馬”たち」展
4.26(火)~10.30(日)
車/札幌市から国道275号線で90分。
鉄道/JR「札幌駅」から「浦臼駅」まで120分、JR「浦臼駅」から徒歩5分。

5 高知県立図書館(高知市)
土佐再発見「土佐移民伝」
4.26(火)~6.23(木)
鉄道/JR「入明駅」下車、徒歩15分。「高知駅」から徒歩20分。
路面電車/「高知城前」下車、徒歩5分。

8 佐川町立青山文庫(佐川町)
小展示「移民と移住の歴史」
6.11(土)~8.28(日)
車/高知市中心部から約50分(「伊野IC」から約30分)。
鉄道/JR「佐川駅」から徒歩6分。

3 土佐市ドラゴン広場(土佐市)
土佐市から海外へ行きまうぞごれんたち
4.17(日)~5.22(日)
車/高知市中心部から車で約40分。
鉄道/JR土讃線「高知駅」から「伊野駅」で下車、
ドラゴンバスで約15分。

7 いの町紙の博物館(いの町)
Tréfonds:
サウロ・ハルオ・オハラ写真展
6.1(水)~6.19(日)
車/高知市中心部から車で約30分。高知自動車道「伊野IC」から
車で約10分。
鉄道/JR「伊野駅」から徒歩で約10分。

B 砂浜美術館(黒潮町)
第28回Tシャツアート展「中南米とHIRAHIRA」
5月1日(日)~5月6日(金)
鉄道/土佐くろしお鉄道「土佐入野駅」下車、徒歩10分。

6 本山町立大原富枝文学館(本山町)
アマゾン日本植民の父 崎山比佐衛
6.1(水)~8.21(日)
車/高知市中心部から高知自動車道「大豊IC」より国道439号線、本山・田
井方面へ。高知龍馬空港より車で約50分。
鉄道/JR「大杉駅」下車、とさでん交通バス「田井」行きまたはタクシー
を利用、約15分。
バス/とさでん交通バス「県庁前発・田井」行を利用、「本山プラチナセ
ンター前」下車、徒歩1分(所要時間約90分)。

4 高知市立自由民権記念館(高知市)
『在伯同胞活動実況大写真帖』
竹下増次郎、ブラジル日本移民を写す
4.28(木)~10.2(日)
路面電車/「棧橋車庫前」(自由民権記念館前)下車すぐ。
バス/「棧橋通4丁目」下車すぐ。はりまや橋から車で5分。

2 高知県立美術館(高知市)
大原治雄写真展—ブラジルの光、家族の風景
4.9(土)~6.12(日)
車/JR「高知駅」から車で約20分。
路面電車/「県立美術館通」下車、徒歩5分。
バス/「高知医大線」で「県立美術館前」下車すぐ。
「高知県立大学・医療センター線」で「美術館通」下車、徒歩5分。

C 高知県立美術館(高知市)
「市民講座~中南米に見るもう一つの高知~」
JICA市民講座(高知市)
5.15(日)13:00-17:00

9 安田まちなみ交流館「和」(安田町)
「龍馬の遺志を継いで 坂本直實と北海道移住」展
7.28(木)~11.1(火)
車/高知自動車道「南国IC」より国道32・55号線経由で60分。高知市中心部から室戸方面へ80分。
鉄道/土佐くろしお鉄道(ごめん・なはり線)「高知駅」から80分、「安田駅」下車、徒歩15分。

A 高知県立牧野植物園(高知市)
平成28年度特別展「ブラジルの植物展」
4.9(土)~5.8(日)
車/高知自動車道「高知IC」から五台山方面へ約20分。JR「高知駅」から約20分。
バス/MY遊バスで約30分。

1 高知県立坂本龍馬記念館(高知市)
~新国を開き候~「海を渡った“龍馬”たち」展
4.1(金)~7.1(金)
車/高知自動車道「高知IC」から約40分。高知龍馬空港から約35分。
バス/JR「高知駅」から高知県交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車、徒歩1分。



海を渡った高知スピリット
高知の移民文化発信プロジェクト
オフィシャル参加館
RP このマークのある施設が「龍馬パスポート」が使えます。

1 ～新国を開き候～「海を渡った“龍馬”たち」展
高知県立坂本龍馬記念館(高知市)
4月1日(金)～7月1日(金) RP

入場料/一般500円、高校生以下無料
主催/高知県立坂本龍馬記念館
〒781-0262 高知市浦戸城山840 TEL.088-841-0001
http://www.ryoma-kinenkan.jp



「早春の日高山脈」坂本直行画(農民画家)

海外開拓事業。それは、海援隊長・龍馬の夢でした。海援隊は“海外の志ある者”を入隊資格とし、海外開拓事業をめざしたのです。生きとし生けるものが喜びあえる新しい国造りを構想していた龍馬の夢見た北海道へ、甥の坂本直寛を中心にして一族は移住。開拓者として生きました。龍馬らの思いとその後の足跡を追います。

2 大原治雄写真展—ブラジルの光、家族の風景
高知県立美術館(高知市)
4月9日(土)～6月12日(日) RP

入場料/一般900円、大学生600円、高校生以下無料
主催/高知県立美術館、モレイラ・サールズ財団、駐日ブラジル大使館、NHK高知放送局
〒781-8123 高知市高須353-2 TEL.088-866-8000
http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~museum/

ブラジルで高い評価を受ける写真家、大原治雄(1909—1999)の日本初の展覧会。高知県の町から17歳でブラジルに渡り、農作業のかたわら農民の日常や愛する家族を穏やかに写した、美しいモノクロ作品を紹介します。彼の写真から、人々の心に存在する普遍的な人間や自然への賛歌を感じていただけることでしょう。



治雄の娘マリアと甥のトミタ・カズオ、1955年 パラナ州ロンドリーナ、トミタ農園 ©Haruo Ohara/Instituto Moreira Salles Collections

3 土佐市から海外へ行きゆうすゴロ人たち
土佐市ドラゴン広場(土佐市)
4月17日(日)～5月22日(日) RP

入場料/無料
主催/ドラゴン広場、土佐市地域おこし協力隊
〒780-0850 土佐市高岡町甲2116-3 TEL.088-879-9000
http://doragonhiroba.com/



西原清東

開国の原点ともなったジョン万次郎から始まり、テキサスに渡った西原清東、他にも土佐市から多くの人々が海外で活躍しています。彼らの活躍は、今や歴史として語られていますが、土佐市にはまだ彼らの思い出が残っているのです。歴史の偉人としてではなく土佐市の先輩として、偉大な先人たちの思い出をたどります。

高知県には、明治から昭和初期にかけて、多くの人々が新天地をもとめ、国内外に移住した歴史があります。その中には、移住先で重要な足跡を遺し語り継がれている人や、活動が再評価されつつある人々もいます。「志を持って故郷を遠く離れ、国内外の新天地に根付いた高知県人を紹介する。」を共通テーマに、高知の移民文化を紹介する展示を2016年4月から1年間、高知県内外で開催します。各会場を訪ねて、「こんなところぞ、こんな人が活躍していたの!」と新たな発見をお楽しみください。

4 『在伯同胞活動実況大写真帖』
竹下増次郎、ブラジル日本移民を写す
高知市立自由民権記念館(高知市)
4月28日(木)～10月2日(日) RP

会場/高知市立自由民権記念館 2階特別展示室
入場料/一般320円、高校生以下無料
主催/高知市立自由民権記念館
〒780-8010 高知市棧橋通4丁目14-3 TEL.088-831-3336
http://www.i-minken.jp/

『在伯同胞活動実況大写真帖』(1938年)は、ブラジル移民で写真家の竹下増次郎が出版した、戦前ブラジル日本移民社会の大ベストセラーで、移民の生活を写真で伝える貴重な記録です。本展では、遺族のもとに保管されていたオリジナルプリント等を初公開し、戦前の日本移民の生活を紹介しますとともに、竹下の足跡をたどります。



「高岡郡斗賀野村出身の矢野真喜氏一家」

5 土佐再発見「土佐移民伝」
高知県立図書館(高知市)
4月26日(火)～6月23日(木)

会場/高知県立図書館 2階
入場料/無料
主催/高知県立図書館
〒780-0850 高知市丸ノ内1-1-10 TEL.088-872-6307
http://www.pref.kochi.lg.jp/~lib/



「土佐移民伝」関連書籍

明治から大正にかけて、土佐からも多くの人々が大きな希望と志を持って海を渡り、北海道やハワイそして遠く北米、南米などに入植しました。当館では、その中から現地でも指導的立場で活躍した6人を選び、それぞれの個性的な生き方とそのフロンティアスピリットを紹介します。併せて関連書籍を展示(貸出用あり)。

6 アマゾン日本植民の父 崎山比佐衛
～我が土地に小屋打ちかけて山を越え 開拓の一戦ここに始まる～
本山町立大原富枝文学館(本山町)
6月1日(水)～8月21日(日) RP

入場料/一般・大学生300円、小・中・高校生100円
主催/本山町立大原富枝文学館
〒781-3601 長岡郡本山町本山568-2 TEL.0887-76-2837
http://www.town.motoyama.kochi.jp/life/dtl.php?hdkKey=861

明治の激動期、本山から多くの人々が新天地を求めて北海道へ、ブラジルへと旅立ちました。龍馬一族が根付いた北海道浦臼の開拓には、本山出身者が重要な役割を果たしています。その足跡をたどると共に、最年少18歳で開拓団に参加、のち海外植民学校を設立し移民事業の推進に生涯を捧げ自らもブラジルへ渡った崎山比佐衛を紹介します。



崎山比佐衛

7 Tréfonds: サウロ・ハルオ・オハラ写真展
いの町紙の博物館(いの町)
6月1日(水)～6月19日(日) RP

入場料/一般500円、小・中・高生100円
主催/いの町紙の博物館
〒781-2103 吾川郡いの町幸町110-1 TEL.088-893-0886
http://kamihaku.com/



≪Tréfonds≫より

いの町(旧吾川郡三瀬村)からブラジルに渡った大原治雄の孫で、写真家のサウロ氏の写真展。ブラジル在住のサウロ氏が来高し、初めて祖父のルーツを訪ねます。移民三世の彼に、祖父の故郷はどのように映るのでしょうか。撮り下ろしの写真も、いの町で生まれた「土佐白金紙」(プラチナプリント用紙)にプリントし、展示します。

8 小展示「移民と移住の歴史」
佐川町立青山文庫(佐川町)
6月11日(土)～8月28日(日) RP

入場料/一般400円、中・高生200円、小学生100円
主催/佐川町立青山文庫
〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲1453-1
TEL.0889-22-0348
http://www.town.sakawa.lg.jp/life/seizan.php



水野龍

佐川町出身で「ブラジル移民の父」と称される水野龍や、姉妹都市である北海道北見市(旧常呂町)への移住などに焦点をあてながら、移民と移住の歴史を再確認する展覧会です。

9 「龍馬の遺志を継いで 坂本直寛と北海道移住」展
安田まちなみ交流館「和」(安田町)
7月28日(木)～11月1日(火)

入場料/無料
主催/安田町教育委員会
〒781-6421 安芸郡安田町大字安田1674-1 TEL.0887-38-3047
http://www.kochinet.ed.jp/yasuda-t/



坂本直寛

約120年前、龍馬の夢見た北海道へ、甥の坂本直寛を中心に坂本一族は渡りました。オホーツク海沿岸・北見、その後、石狩川のほとり・現在の浦臼町に定住します。自由民権家でクリスチャンであった直寛は、自由と平等、平和を標榜する“神の国”を作ろうとしたのです。敬愛する叔父・龍馬と合わせ、安田町出身の直寛らの思いと足跡を追います。

10 坂本龍馬ゆかりの地
「土佐から浦臼へ“北の龍馬”たち」展
北海道 浦臼町郷土史料館(北海道・浦臼町)
4月26日(火)～10月30日(日)

入場料/無料
主催/浦臼町教育委員会
〒061-0600 北海道樺戸郡浦臼町字ウラウシナイ183番地の21
TEL.0125-68-2237
http://www.town.urausu.hokkaido.jp/gaido_map/shiryokan.html
(浦臼町HP内 郷土史料館のページ)

県立坂本龍馬記念館と交流を進める浦臼町も、本事業に北海道から特別参加します。同町は高知県本山町(現友好交流町)の移住者らが開拓した町で、1898年から坂本一族が移住した土地です。坂本龍馬ゆかりの地として顕彰活動に努めています。渡道後の坂本家と合わせ、龍馬その人や北の大地へ渡った土佐人を紹介します。



「坂本龍馬の肖像画」画・林竹治郎

関連展示情報

「高知の移民文化発信プロジェクト」にあわせて各種イベントも開催されます。

A 平成28年度特別展「ブラジルの植物展」
高知県立牧野植物園(高知市)
4月9日(土)～5月8日(日) RP



「熱帯アメリカ原産のパパイア」

県立美術館で開催する「大原治雄写真展」に併せて、温室内に大原の写真パネルを特別展示します。温室の熱帯植物と大原の写真を通して、海を渡った高知県の先人たちの移民の暮らしを偲ぶとともに、大原たちが見たであろう南米の植物を紹介します。南米をはじめ熱帯の植物についての理解を深めていただく良い機会となることでしょう。

B 第28回Tシャツアート展“中南米とHIRAHIRA”
砂浜美術館(黒潮町)
5月1日(日)～5月6日(金)

入場料/中学生以上の方協力金300円
会場/砂浜美術館 〒789-1931 幡多郡黒潮町入野(入野の浜)
TEL.0880-43-4915(砂浜美術館事務局)
http://www.sunabi.com/
協力/JICA四国支部



「全国からの応募作品とともに、砂浜でひらひらします」

「もう一つの日本～中南米で見つけた四国の風景～」をテーマに、JICAボランティアや日系研修員から集めた写真をプリントしたTシャツ30枚を展示。砂浜での展示後は、中南米を旅します!日本との外交120周年やオリンピックの開催で盛り上がるブラジルや、高知県からの移民も多い中南米の国々をひらひらとつなぎます。10月から横浜の移住資料館(JICA横浜)にて展示予定。URL:http://www.jica.go.jp/yokohama/office/access.html

C 「市民講座～中南米に見るもう一つの高知～」
JICA市民講座(高知市)
5月15日(日) 13:00-17:00

会場/高知県立美術館ホール 〒781-8123 高知市高須353-2
入場料/無料
主催/JICA四国 http://www.jica.go.jp/shikoku/

プログラム(予定):映画上映、ボランティア体験談、日系社会に関する講演
地球の反対側にもう一つの高知があります。そこには昔、6千人以上の高知県民が移住し、今でもよさこい踊りや血鉢料理等、土佐文化が息づいています。中でも県出身者最多のパラグアイでは、「高知県が大変な時は援助します」と思いを寄せてくれています。日系社会に関する映画上映や、前身為海外移住事業団であるJICAの日系社会へボランティア派遣を担当する課の職員が話をします。「もう一つの高知家」に触れてみませんか。

募集中! 1000を超える仕事、世界約70ヶ国から、いま必要とされている。

青年海外協力隊 シニア海外ボランティア

僕たちにできることは必ずある

青年海外協力隊 シニア海外ボランティア 日系社会青年ボランティア

応募受付期間 4/1 ▶ 5/9

次回募集・秋募集 期間/10月上旬～11月上旬

詳しくはウェブサイトへ JICA四国 検索 facebookも随時更新中!